

押さえて
おきたい!

安定成長を続ける 有望企業レビュー

国内のライフラインを支え、着実に事業展開を進める企業や、好調なコンタクトレンス事業を伸ばし続ける企業を大調査。

2016年熊本地震 都市ガス復旧支援隊全体ミーティング



ライフラインを支える 総合設備工事会社



代表取締役社長
川野 隆夫

当社は、生活に不可欠なガス
を家庭や大型商業施設などに安
定的に届けるガス工事に組み
持ち、東京ガスなどの大手ガス
事業会社からの信頼が厚い。1
948年の創業から培ってきた
技術力によって空調設備、給排
水衛生設備、電気管配列等設備
工事、土木水道工事などに対応。
総合設備工事会社として高品質
な施工で国内のライフラインを
支えている。

大規模災害時の 復旧活動にも尽力

大手ガス事業会社の取引にシフトま
ず、大手ハウスメーカーなど、さまざま
な事業会社との良好な関係を構築。
2023年9月17日5周年を迎えた当
社は、創業以来、たゆまぬ設備が
確かな技術力と安定した経営基盤が
強み。さらに、マンションやビル等の給
排水衛生設備工事といった建築設備事
業など、エネルギー、ライフラインに
関する工事を幅広く行っている。
また、特筆すべき点に大規模災害時
における復旧支援がある。二次災害防
止と早期の復旧作業に協力し、199
5年の阪神・淡路大震災では協力会社
も含め延べ3万戸、2011年の東
日本大震災では延べ6000人を派遣
し、ガス工事や仮住宅建設に携わっ
た。災害発生直後、被災地の状況がわ
からない中에서도、被災者の方々
が早く日常生活に戻れるよう、ライ
フラインを早期に復旧させることが当
社の使命と考え、誇りをもち、平時か
ら有事に備えた訓練に取り組み「一人
のインフラを支える」プロフェッショ
ナル集団だ。

売上高経常利益率 4%以上を視野に

当社は、2022年度から202
4年度にかけて中期経営計画「SEE
P2024」を推進中だ。ガス工事に
おいて、同事業を主軸とする総合他
社で設備工事を一括受注できる体制
を構築できる企業が少ないため、体
制の整備を行いながら売上先着の

DATA

注：データは2024年2月15日時点



株価 **1,266円** 配当利回り **2.37%**
(今年予想)

POINT

安定的な配当の維持および向上を目指し、2023年度も1株あたり30円の配当と30%を超える配当性向を予想。人材の先行投資や資材の高騰などの影響を受けながらも、積極的な経営努力により、ほぼ幅広い利益を確保している。中計最終年度である2024年度には、収益面の改善が図られ、利益がさらに増加する見込み。配当性向が40%を超え、1株あたり40円を超える配当を目指している。

2024年度に 配当性向 40%達成も

利便性のさらなる向上を狙う。また、収益の寄与を回るべく、新たな中核事業への育成に向け、経営資源を投入している。
特に新業分野に焦点を当て、ガス設備に加え、給排水衛生設備、給湯・暖房工事、電気工事などの複数同時受注を推進し、総合設備工事会社としての事業基盤を固める策策にも注力する。

さらに、経営指標においては、売上高経常利益率を重視し、2023年度までは設備の更新や人材に対する投資などが先行していたが、2024年度には収益力の向上を図り、売上高経常利益率4%以上の達成に向けて、事業を着実に展開している。

DATA

株式会社
協和日成 (東ス・1981)

東京都中央区入船3-8-5

詳しくはこちら

